
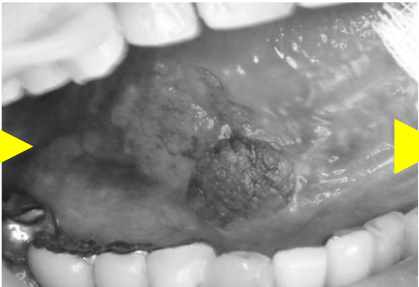
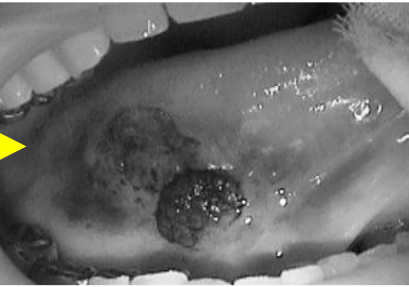


タイトル 癌の生体染色剤		
技術分野 <input type="checkbox"/> 食品・バイオ <input checked="" type="checkbox"/> 医療 <input checked="" type="checkbox"/> 化学・薬品 <input type="checkbox"/> その他()	利用分野・適用可能分野 医療分野(癌の生体染色剤および生体染色方法であり、特に早期口腔癌などの早期癌の検出および癌切除領域の決定に有用である。)	情報メモ 別紙資料: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 サンプル: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見学: <input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 その他:
提供特許情報(出願番号等 / 出願日 / 出願人) 出願番号: 特願2007-023265 出願日: 2007年2月1日 発明の名称: 癌の生体染色剤 出願人: 学校法人久留米大学		関連特許番号
目的・効果・特徴 【目的】 癌の早期検出や癌の切除領域の決定に有用な生体染色剤および生体染色方法において、従来使用されている生体染色剤の有する欠点(染色剤の生体への強い刺激性、的確な染色ができず、偽陰性となる)を克服する、優れた生体染色剤およびそれを用いた染色方法を提供する。 【効果】 本発明を実施することで、 1) 生体への染色時の強い刺激性を緩和 2) 判別困難な早期癌検出、確実な生検部位決定、孤立した小病巣の発見、再発癌の早期発見。 3) 切除すべき腫瘍範囲の確実な明示ならびに的確な治療法の選択を可能とする。 癌の再発防止や、患者のQOL(Quality of Life)の向上がもたらされる簡便で信頼性の高い染色剤および方法である。 【特徴】 癌の初期診断に有効である。 1) 本発明の染色剤はガン細胞の特定物質と結合し、染色する。 2) リンパ節転移のない、粘膜下層に留まる「早期口腔癌」、癌化の可能性の高い上皮性異形成等早期癌の染色が可能である。		
技術概要 本発明に用いられる染色剤は、基本的には診断する局所部位に適用し、種々の形態(液状、ゲル状、錠剤、カプセル)で使用する。例としては塗布という簡便な方法が推奨される。検出(確認)方法としては、目視によることも可能であるが、本発明染色剤に特有な赤外吸収波長による検出がより確実であり、赤外線暗視カメラにより検出する方法で、検出率100%で検出できる。また、上皮性異形成では上記赤外線カメラ法により低吸収領域となり、正常粘膜上皮では赤外吸収領域は認められない。 以上から、初期癌も含めた、癌組織の染色、上皮性異形成の染色を可能とし、その区別も可能とした、正確な検出方法が確立された。		
図・特記事項・その他		
右側舌癌(T2N0M0)		
		
染色前	ICG染色	赤外線吸収画像
癌病巣部は緑色に呈色しており、赤外線照射後は吸収領域としてより明瞭に描出されている。		